

かみかわ まちづくり通信



今回のテーマ:

暑さをさえぎれ！日傘で熱中症対策

問合せ 学務課

☎0495-77-2312

FAX0495-77-3915

8月は、気温が30度を超える真夏日が月の大半を占めます。神川町では令和5年8月の気温で35度を超える猛暑日が10日間ありました。また、この暑さで熱中症になり救急搬送される人も増えています。埼玉県内で令和5年8月に熱中症により1,809人の方が救急搬送されました。

熱中症は、高温多湿な環境に身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称です。熱中症は命にかかわる病気ですが、予防法を知っていれば防ぐことができます。

町内小学校の児童にUVカットの日傘を配布

1日の中で一番暑くなる時間をご存知でしょうか？最高気温は午後2時～3時頃に出やすいと言われています。これは太陽が最も高い位置に来る正午頃から地面を暖め始め、その熱で次第に空気が暖められるためです。また日差しに関しても午前10時～午後2時までが最も強くなります。これほど暑くなる時間帯に小学校の児童は下校をします。児童の健康と安全を守るため、神川町では町内小学校の児童全員へ晴雨兼用傘を配布しました。

児童は「結構涼しい！」「みんなで同じ傘を差すことが嬉しい！」と笑顔で下校時に使用しています。



ポイント



カラーは注意を引きやすい黄色！
車からもよく見えます。

ポイント



風に強い丈夫な骨！
耐久性の高いグラスファイバー素材を使用しています。



開くと…



ポイント



親骨は55cm！
ランリュックを背負っていても十分な大きさです。

ポイント



裏側はグレーに！
遮光・遮熱性のある素材です。

こどもの暑さ指数に注意を

暑さ指数(WBGT)とは、人間の熱のバランスに影響の大きい気温・湿度・^{ふくしゃねつ}輻射熱(*)の3つを取り入れた温度の指標で、熱中症の危険度を判断するために用いられています。

こどもは大人より身長が低く、地表面からの影響を受けやすいため暑さ指数は平均して0.1~0.3度高くなります。風が弱く、日射が強いときには2度程高くなった例もありました。また、こどもは汗をかくななどの体温調節機能が未発達のため、体に熱がこもりやすくなります。

適切なエアコンの使用や、こまめな水分補給、日傘や帽子の活用など、こどもも大人も一人ひとりが熱中症予防を心がけましょう。

※^{ふくしゃねつ}輻射熱:日差しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱のことです。温度が高い物からはたくさん出ます。



今回のテーマに関するご意見をお寄せください

「まちづくり通信」をお読みいただきありがとうございます。今回取り上げたテーマについて、皆様からのご意見を募集します。下記のテーマを参考に、町民の皆さまの率直なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。意見の送付方法は下記の通りです。

【締切】
8/30(金)

①「まちづくり提案箱」に投函

本面下部の用紙を切り取り、町が設置している「まちづくり提案箱」に投函してください。

【設置場所】

役場(本庁舎1階)/神泉総合支所
/中央公民館/ふれあいセンター



②「電子申請」を利用して投稿

2次元バーコードを読み取り、「神川町電子申請・届出サービス」へアクセスしてください。



【まちづくり通信について】

月に1回の広報紙とは別に、テーマを絞り込んだまちづくり通信を町民の皆様に配布しています。広報では伝えきれない情報を伝え、また毎号テーマごとに町民の皆様の意見を募集し、町政へ反映させることを目的としています。



<ご意見>

※お名前、年齢、性別についての記入は任意です。

「かみかわまちづくり通信」
令和6年8月1日号

お名前

年齢

性別

男・女

テーマ

【テーマの一例】

- 日傘配布について
- 熱中症対策への要望

等